

## 三桜工業株式会社 2020 年 3 月期第 2 四半期 決算説明会質疑応答

実施日時：2019 年 11 月 29 日（金）13:00～14:00

Q. 下期の地域別売上はどうなっているのか。Geiger 社の赤字分と来期の見込み、また中国での単価価格値上げの結果が来期にどう影響するか。

A. Geiger GmbH の当期純利益は、下期のリストラ費用を含め 18 億円、営業利益は 45 億円を見込んでいる。リストラの効果は来期以降になる現れてくると考えている。中国は欧州系メーカー 2 社と値上げ交渉しており、1 社はほぼ合意に達している。もう 1 社のドイツメーカーとは交渉中だが確実に決着つけられるようにしたい。

Q. 欧州はどれくらいの利益を見込んでいるのか。

A. リストラの費用は約 6 億円だが、人員削減の効果でそれ以上の利益が出る見込みである。また、構造改革の一環としてドイツ OEM 3 社と値上げ交渉中だが、既に 2 社とは合意しており、来期は黒字を見込んでいる。

Q. 業界全体の再編による影響はどうか。競合他社との関係性の変化はあるのか。

A. あまり影響はない。当社の製品は比較的寡占の部品が多く、納入先に影響はないと考えている。

Q. 全固体電池について。具体的なロードマップのアップデートはあるか。

A. 全固体電池に関して、当社は SolidPower 社に出資してコラボレーションを実施している。今の段階で SolidPower 社とのコラボレーションについて当社から具体的に発表できるスケジュールはない。SolidPower 社は第 3 四半期、工場内にパイロットラインを設置している。また、SolidPower 社では現在、第 1 世代セルの試作を作っているところだが、来年に向けて第 2 世代の試作開発を予定している。当社は SolidPower 社と秘密保持契約（NDA）を結んでいるため具体的な開発状況は開示できない。